

⑥0 東京駅警備巡查派出所

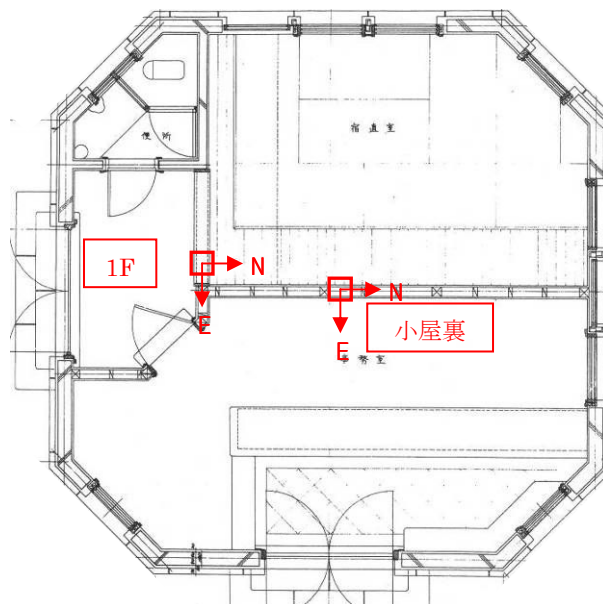


旧所在地	東京都千代田区丸の内		
構造、階数、用途	RC造及び木造、平屋建、交番		
建築年	1914	移築年	1972
最高高さ(m)	7.17	標高(m)	98.80
建築面積(㎡)	45.42	延床面積(㎡)	45.42

- 建設当初より鉄筋コンクリート造の壁躯体に化粧レンガを貼る工法を用いている、八角形の平面を持つ交番建築である。
- 1階センサーは、宿直室の床上に設置した。内部を二分する木造の間仕切壁が設けられており、低層であることから、極めて剛体的に振動すると思われる。
- 得られた波形データに明確なピークはなく、位相の変化から固有振動数及び減衰定数を推定した。

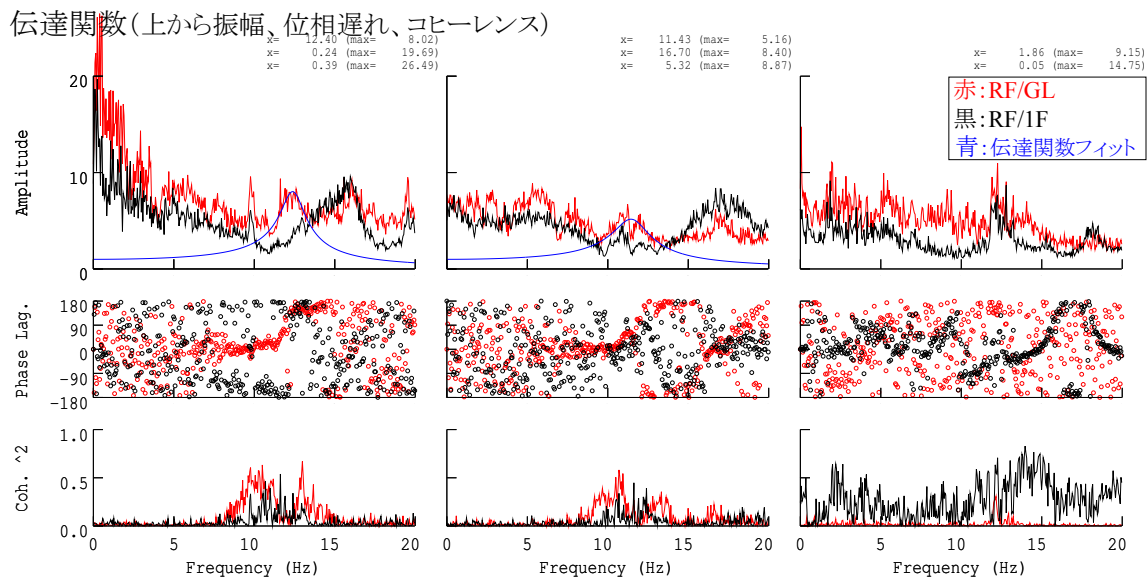
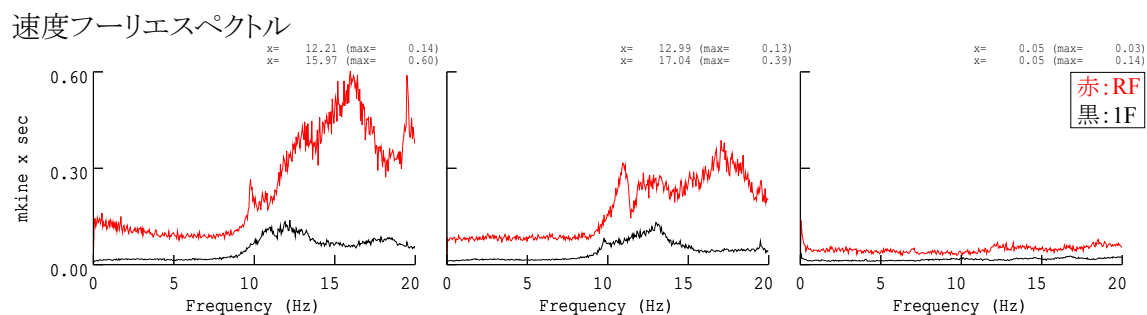
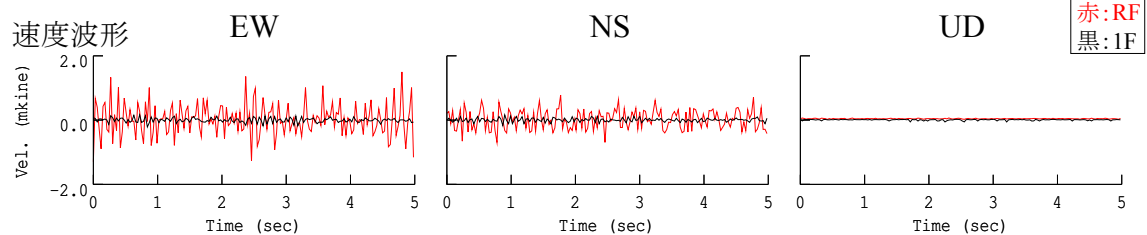
○センサー設置状況

短辺
↓
長辺



1 階平面図

⑥ 東京駅警備巡查派出所



□推定固有振動数

EW 12.50Hz

NS 11.15Hz

□推定減衰定数

EW 8.33%

NS 9.33%

[伝達関数フィット(振幅)]

